

# 令和7年度 札幌商工会議所 経営発達支援計画事業 実施報告

---

# 経営発達支援計画について

## 札幌商工会議所 第3期経営発達支援計画

平成26年に小規模支援法が改正され、小規模事業者の持続的発展を支援するために商工会及び商工会議所が、小規模事業者の課題に対して事業計画の作成や着実な事業の実施を支援するとともに、地域活性化につながる事業を策定し事業者に寄り添って支援する体制を整えた「経営発達支援計画」を国が認定する制度が導入された。

当所と札幌市経済観光局は、下記に掲げる3つの目標の達成を定めた「経営発達支援計画」を策定し、経済産業大臣から3期目となる計画認定を受け、札幌市内の小規模事業者に対する伴走型支援を実施した。

3期目の計画期間は「令和7年4月1日～令和12年3月31日」であり、初年度となる令和7年度の事業報告を記す。

## 経営発達支援事業の目標

目標	内容
①「稼ぐ力」を備えた自走できる小規模事業者の育成	伴走型支援を通じて、経営者の「気づき」や「腹落ち」を促し、当事者意識を醸成すると共に、課題解決に向けて自走できる企業の育成を目指す
②マーケットの拡大	商談会の開催や展示会への出展を通して、個社の販路拡大を支援し、ひいてはマーケットの拡大を目指す
③新たな企業や価値の創出	創業相談窓口「さっぽろ創業支援プラザ」の運営を核に、創業を後押しする

# 経営発達支援計画について

## 経営発達支援事業の内容

経営発達支援事業における評価項目は、下記の6項目(3.～8.)である。

評価項目	内容
3. <u>地域の経済動向調査に関すること</u>	「定期景気調査」及びこれに伴う「付帯調査」を実施し地域経済動向を把握する。調査結果はホームページで公開し、情報提供する また、「RESAS」による、地域経済動向分析も行う
4. <u>需要動向調査に関すること</u>	「MieNa」「J-stat map」等による個別商圈分析と展示会等出展による個別調査を行う
5. <u>経営状況の分析に関すること</u>	財務分析及び非財務分析による現状把握をチームで行う
6. <u>事業計画策定支援に関すること</u>	①経営状況分析に基づき、事業計画策定支援をチームで行う ②創業相談窓口にて、創業計画の策定支援を行う
7. <u>事業計画策定後の実施支援に関すること</u>	チームで進捗管理し、適切な時期に適切な支援を確実に行き、実効性を担保する
8. <u>新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</u>	企業交流会を開催し、企業の異業種ネットワークづくりを支援すると共に、商談会の開催及び展示会等への出展を通して販路拡大を支援する

## 令和7年度の実施実績評価について

上記(経営発達支援事業の内容)で示した事業内容について、以下の評価判定基準を設定した。

### ※【評価判定基準】

- A…目標を達成することができた(100%)
- B…目標を概ね達成できた(80%～99%)
- C…目標を半分程度しか達成することができなかった(30%～79%)
- D…目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

## 3. 地域の経済動向調査に関すること

【自己評価…A】

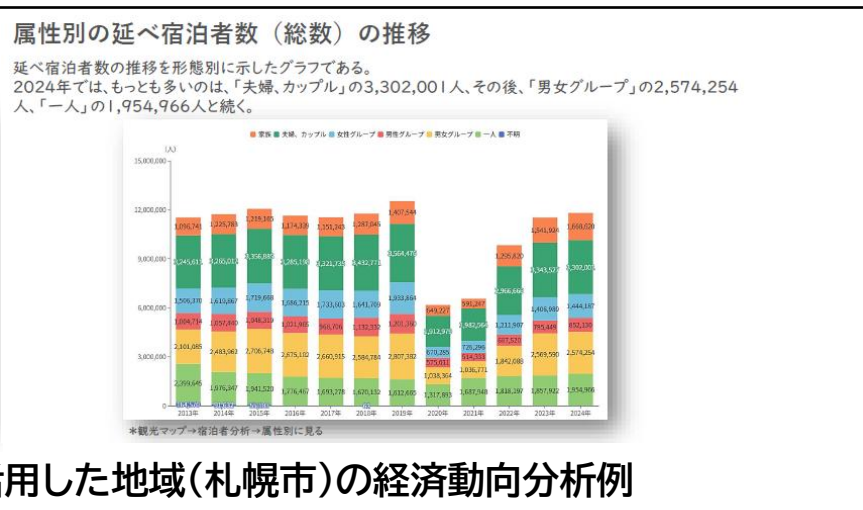
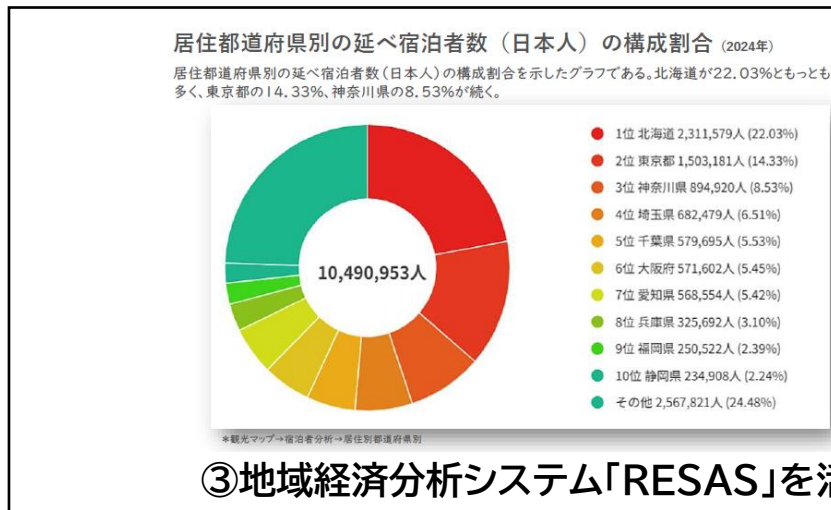
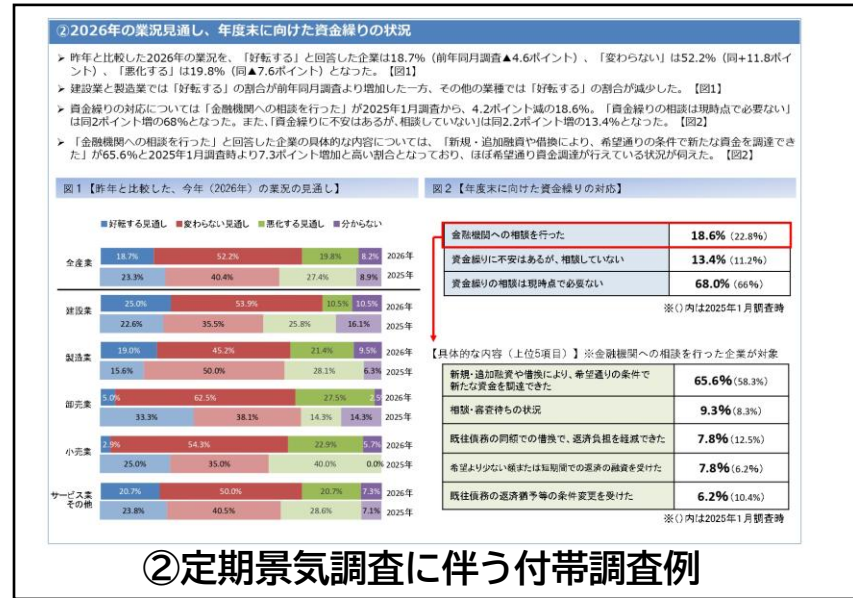
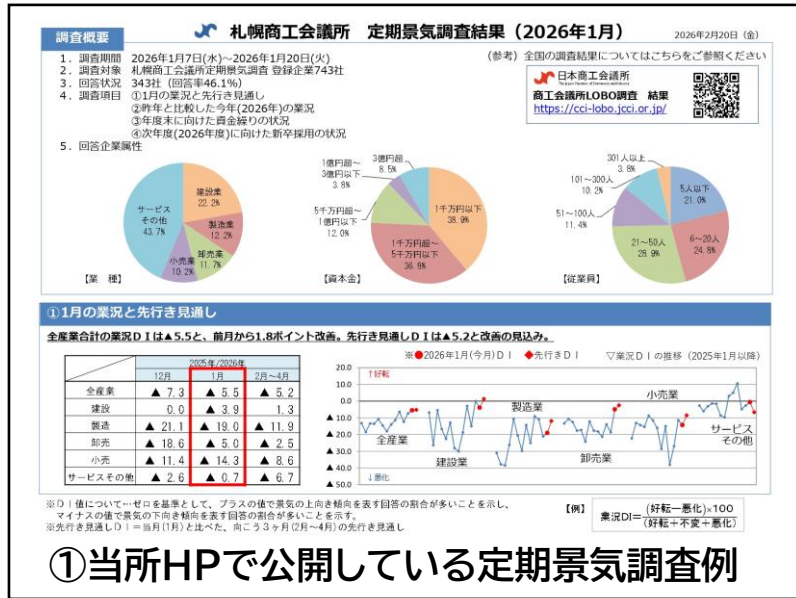
札幌市内の主要企業に対して、各業界の動向調査と時宜にあったテーマを調査する付帯調査を毎月実施し、当所ホームページで「定期景気調査」として公開した。

加えて、地域経済分析システム「RESAS」による地域の経済動向分析を実施し、経営指導員が巡回指導をする基礎資料として展開した。

	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
①定期景気調査公表回数	年12回	年12回	A	年12回
②定期景気調査に伴う付帯調査公表回数	年12回	年12回	A	年12回
③地域の経済動向分析	年1回	年1回	A	年1回

実施月	付帯調査内容	実施月	付帯調査内容
4月	コスト増加分の価格転嫁の動向	10月	コスト増加分の価格転嫁の動向
5月	米国関税措置の影響	11月	中小企業の設備投資動向 生成AIの活用状況
6月	設備投資の動向 2024年度の採用実績の動向	12月	正社員における来年度の賃上げ動向
7月	物流効率化・取引適正化に関する取組状況・課題	1月	昨年と比較した今年の業況 年度末に向けた資金繰りの状況 次年度に向けた新卒採用の状況
8月	米国関税措置の影響	2月	法務対応と課題 取引適正化に関する取組状況・課題
9月	2025年度の賃金(正社員)の動向	3月	円安基調が業績に与える影響

## 3. 地域の経済動向調査に関すること



## 4. 需要動向調査に関すること

【自己評価…B】

5. 経営状況の分析に関することの経営状況分析と、6. 事業計画策定支援に関することの事業計画策定支援においてMieNa等を利用した商圈分析を実施した。今年度は、近隣の公共施設に設置している商圈分析ツールを利用したが機能の制限により不便が生じたため、次年度は当所が商圈分析ツール等を導入し、事業者支援に向けた環境整備を図ることを予定している。

8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関することに記載の各種展示・商談会のほか、当所独自で販売会を開催し個別調査を実施した。出展者には調査結果のフィードバックと、専門相談員による分析を実施したが、全ての出展者への実施には至らなかった。次年度は個別調査を継続実施するとともに、新たな個別調査の取組としてクラウドファンディングを活用したテストマーケティング支援の導入を予定している。

	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
①各種分析ツールによる商圈分析 (6. 事業計画策定支援に関すること に記載の事業計画策定支援に連動)	年2回	年2回	A	年3回
②各種展示会等出展による個別調査	年2回	年1回	C	年2回



② R8 2/4～6 販売会(SAPPORO MARCHE IN KIRORO)

②R7 9/8～9販売会(札幌ポケットいちば)  
※一部フィードバックが不調

## 5. 経営状況の分析に関すること

【自己評価・・・A】

経営指導員の金融支援(融資支援)先を中心に、経営支援ツール「Bizミル」と経済産業省の「ローカルベンチマーク」を活用した経営状況分析を実施し、目標を達成した。次年度は本事業の周知強化とともに、経営発達支援計画に記載の方針のとおり「担当指導員から事業者へのフィードバック時に、支援先が本質的な課題を認識できるよう意識して対話する」ことに努めながら、引き続き、経営状況分析を進める。

	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
経営状況分析 (財務・非財務)	年50社	年55社	A	年50社

実績値計上基準

事業者に対し、事業者の経営状態の把握をするツールである「ローカルベンチマーク」を活用した経営状況分析(財務分析及び非財務分析)を実施の上、分析結果を、事業者にフィードバックした件数を計上。

【6つの指標】による分析

●財務情報…企業の過去の姿を映す

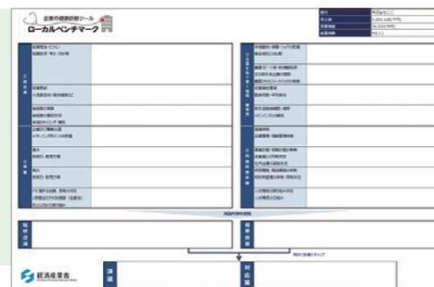
- ①売上高増加率…売上持続性
- ②営業利益率…収益性
- ③労働生産性…生産性
- ④EBITDA有利子負債倍率…健全性
- ⑤営業運転資本回転期間…効率性
- ⑥自己資本比率…安全性



【4つの視点】による把握

●非財務情報…企業の現在の姿を映し、将来の可能性を評価

- ①経営者への着目
- ②事業への着目
- ③関係者への着目
- ④内部管理体制への着目



ローカルベンチマークを活用した経営状況分析(財務・非財務)のイメージ

## 6. 事業計画策定支援に関すること

### 【自己評価・・・A】

今年度は5. 経営状況の分析に関することに記載した経営状況分析と同時に、事業計画策定支援の希望を確認した後、「経営支援力強化チーム」のメンバーによる事業者支援を実施した。目標を達成した反面、経営状況分析先が事業計画策定に関して消極的な場合も多かった。次年度は、5. 経営状況の分析に関することに記載のとおり、支援先が本質的な課題を認識できるよう対話を通じて、事業計画策定の必要性の認識を深め、事業計画策定支援等を通じた伴走支援へ結びつけることを目指す。

創業に関しては、主に当所の「さっぽろ創業支援プラザ」の利用者への支援に注力した結果、目標を大幅に超過した。支援先については、今後も対話を通じた経営状況の把握に努め、必要に応じて事業計画策定の支援を実施する。

	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
①経営状況分析先から選定した事業計画策定支援先	年2社	年2社	A	年3社
②創業計画策定支援先	年30社	年110社	A	年30社

#### 実績値計上基準

##### ①経営状況分析先から選定した事業計画策定支援先

5. の経営状況分析の次のステップとして、事業計画策定支援を実施した件数を計上。

なお、策定支援としてカウントする事業計画は、以下4点を全て満たすものを対象

- ・現状分析(SWOT分析等)
- ・具体的な目標(定性・定量)
- ・行動計画(アクションプラン)
- ・係数計画(収支・資金繰り)

##### ②創業計画策定支援先

創業計画書の策定支援をした上で、金融機関へ融資を斡旋し、融資が実行された件数を計上

## 7. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【自己評価…B】

事業計画策定支援先のフォローアップについては、6. 事業計画策定支援に関することにおける事業計画の策定が年度後半となったため、目標未達成となった。今後は、今年度の支援先に加え、来年度前半で策定支援する支援先のフォローアップを進める。

創業融資実行先については、創業融資実行の3ヶ月後を目途に、事業の開始状況とあわせて現況を確認した。次年度は支援先の事業進捗状況を確認し、課題が生じている場合は、適宜、フォローアップを実施する。

	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
フォローアップ対象事業者数① (事業計画策定支援先)	年2社	年1社	C	年5社
延べ支援回数	6回	1回	D	13回
売上増加企業数	—	—	—	2社
フォローアップ対象事業者数② (創業融資実行先)	年24社	年92社	A	年48社
延べ支援回数	72回	92回	A	120回
売上増加事業者数	—	—	—	—

### 実績値計上基準

#### ①フォローアップ対象事業者数(事業計画策定支援先)

6. の事業計画策定先に対し、事業計画策定から3ヶ月後に事業計画の進捗状況を確認した事業者を計上

#### ②フォローアップ対象事業者数(創業融資実行先)

6. の創業計画書策定支援先に対し、創業計画策定から3ヶ月後に事業の稼働が確認出来た事業者を計上

※対象事業者へは3年間フォローアップすることを想定しており、2026年度以降は、フォローアップ開始から2年目や3年目の対象事業者へのフォローアップも延べ支援回数に計上する。

## 8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

【自己評価…B】

概ね目標を達成した。特に、「①企業交流会」は当初の予定より実施回数を増加したことにより、目標を大幅に超過する結果となった。また、②～⑦の各種展示会に関しては、概ね目標を達成したが、「④FOOD TAIPEI」は、主催団体の方針により当所への割り当て小間数が減少したため、目標達成とはならなかった。来年度は目標に掲げた実績を維持しながら、新たな需要開拓への寄与を目指す。

	開催日	当日の様子	R7年度目標	R7年度実績	自己評価	R8年度目標
①企業交流会 参加企業数	多数(全11回)開催のため割愛		240社	608社	A	240社
②我が社の商品売込市 参加企業数 商談数	9/30		50社 100件	51社 290件	A	50社 100件
③FOOD HOKKAIDO 参加企業数 商談数	10/29～ 10/30		100社 450件	79社 533件	A	100社 450件
④FOOD TAIPEI 参加企業数 商談数	6/25～ 6/28		4社 60件	2社 44件	C	4社 60件
⑤THAIFEX 参加企業数 商談数	5/27～ 5/31		3社 45件	3社 51件	A	3社 45件
⑥ビジネスEXPO 参加企業数 商談数	11/6～ 11/7		12社 120件	14社 171件	A	12社 120件
⑦Japan IT Week 参加企業数 商談数	10/22～ 10/24		5社 40件	6社 36件	B	5社 40件

## 9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

### <有識者会議>

外部有識者で構成される「有識者会議」を組織し、経営発達支援事業について評価する会議を開催した。

日時:令和8年3月24日(火)14:00~15:00

場所:札幌商工会議所 7階 第5会議室(札幌市中央区北1条西2丁目)

参加機関:北海道 経済部 地域経済局

札幌市 経済観光局 経営支援・雇用労働担当部

(独法)中小企業基盤整備機構 北海道本部

(一社)北海道中小企業診断士協会

### 【有識者からの評価】

各評価項目への自己評価について、全会一致で評価の妥当性が承認された。

なお、報告内容に関する指摘や、改善要求等はなかった。

### 【その他の意見】

- ・より一層の伴走支援を推進するにあたり、経営発達支援計画内の支援施策に留まらず、他の公的支援施策との連携の検討を進めていただきたい。
- ・デジタル技術等を活用した情報共有体制を構築し、札幌商工会議所における経営支援力の維持発展に努めていただきたい。
- ・引き続き、事業者の腹落ちや、気づきを促すことに意識しながら、丁寧な伴走型支援を進めていただきたい。

## 10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### ① 外部研修等の積極的活用

日程	内容・講師	参加人数
5/15～ 5/16	内容:2025年度「若手経営指導員のための小規模事業支援の基礎研修」 ①経営基礎知識 ②中小企業の経営実態 ③商工会議所における経営支援 ④ヒアリングと本質的経営課題の設定 等 講師:(資)コンサルタント ノヴァーレ 代表 時山 正 氏	3人
7/3～ 7/4	内容:第12回商工会議所経営指導員全国研修会 ①基調講演:「今後の経営指導の在り方について」 (株)アテナソリューション 代表取締役 立石 裕明 氏 ②講 演:「生成AIの経営指導への活用について」 J1プロデュース 代表 兼村 泰廣 氏 ③事例発表・パネルディスカッション:「経営指導員育成と伴走支援について」 ④記念講演:「伝える力が未来を創る」 (同)おおいえ 代表 大家 彩香 氏	2人
8/18～ 8/19	内容:北海道商工会議所連合会オーダーメイド研修 創業支援の進め方 講師:オフィス後藤経営 代表 後藤 直樹 氏	17人
9/1～ 9/2	内容:北海道商工会議所連合会オーダーメイド研修 生成AIの基本と活用法 講師:(株)カレッジフェイス代表取締役 岩岡 博徳 氏	15人
8/25～ 9/18	内容:中小企業大学校旭川校 基礎研修「税務・財務診断(旧基礎Ⅰ)」 ①企業経営の仕組み ②財務諸表の基本 ③経営分析の基本 ④経営分析机上演習 ⑤所得税・消費税及び法人税の仕組み ⑥所得税・消費税机上演習 等 講師:オフィス後藤経営 代表 後藤 直樹 氏 他多数	1人

## 10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### ②-1 独自研修の開催と他部署主催研修会への参加※外部講師

日程	内容・講師	参加人数
4/23	内容: Bizミル所内研修 ① Bizミルの基本操作(企業情報の入力) ② マル経融資推薦書の作成(財務内容の入力、推薦書作成) ③ ローカルベンチマークの活用方法 ④ 支援案件の入力方法 等 講師: (株)エイチ・エーエル 東 佳宏 氏	13人
12/8	内容: Bizミル、Keytas所内研修 ① Bizミル、Keytasの基本操作(企業情報の入力) ② マル経融資推薦書の作成(財務内容の入力、推薦書作成) ③ ローカルベンチマークの活用方法 ④ 支援案件の入力方法(応用編)等 講師: (株)エイチ・エーエル 池田 孝行 氏	7人
12/12	内容: 伴走型小規模事業者支援推進事業 WEBを活用した小規模事業者のアプローチとSNS・ホームページの運用 「ブランディングとWEBマーケティング」 講師: 黒木勝巳マーケティング・広報事務所 InShift(同) 代表社員 黒木 勝巳 氏	35人

## 10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### ②-2 独自研修の開催と他部署主催研修会への参加※内部講師

日程	内容・講師	参加人数
5/22	内容:事業承継・引継ぎ支援センター 所内説明会 センターの事業内容と事業承継支援のポイントについて 講師:北海道事業承継・引継ぎ支援センター 承継コーディネーター 糀屋 剛 氏	12人
6/18	内容:北海道中小企業活性化協議会 所内説明会 活性協の事業内容について 講師:北海道中小企業活性化協議会 サブマネージャー 城下 和彰 氏 // 大塚 正明 氏	11人
7/7	内容:BIZミルを活用したローカルベンチマークの活用方法① 講師:内部講師(中小企業・創業支援課)	12人
7/31	内容:BIZミルを活用したローカルベンチマークの活用方法② 講師:内部講師(中小企業・創業支援課)	12人
8/6	内容:商圈分析ツールの使い方について(MieNa、jSTAT MAP等) 講師:内部講師(中小企業・創業支援課)	11人
11/6	内容:経営状況分析の横展開、AIの活用について (事業計画策定プロセス、支援事例の水平展開) 講師:内部講師(中小企業・創業支援課)	12人



研修の様子

※その他、内部講師(中小企業・創業支援課)が各支所を巡回し、都度研修を開催(上記とは別に計9回実施)

### ③OJTの実施

経営指導員の帯同のもと、事業者の経営状況の把握、強み・弱みの整理、今後進むべき方向性やそのための手段・方法について、専門家の知見をもとに、アドバイスを行う中小企業診断士等の専門家派遣を延べ52回実施した。

## 11. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

### ①政府系金融機関との情報交換会の開催(年5回)

本所及び各支所で合計年10回金融懇談会を開催し、マル経融資の利用促進等について協議した。

#### 【本所開催分】

日程	会議名	参加人数
4/16	日本政策金融公庫札幌支店 国民生活事業との金融懇談会	19人
4/25	日本政策金融公庫札幌北支店 国民生活事業との金融懇談会	13人
5/28	日本政策金融公庫札幌支店・札幌北支店 国民生活事業とのマル経融資にかかる勉強会・情報交換会	9人
7/14	北海道信用保証協会との意見交換会	18人
12/11	日本政策金融公庫札幌北支店 国民生活事業との金融懇談会	8人
12/19	日本政策金融公庫札幌支店 国民生活事業との金融懇談会	11人

#### 【支所開催分】

日程	会議名	参加人数
6/10	日本政策金融公庫札幌支店 国民生活事業と当所西支所との金融懇談会	8人
6/17	日本政策金融公庫札幌支店 国民生活事業と当所中央支所との金融懇談会	11人
6/19	日本政策金融公庫札幌北支店 国民生活事業と当所札幌駅北口支所との金融懇談会	11人
7/10	日本政策金融公庫札幌支店 国民生活事業と当所白石支所との金融懇談会	10人

### ②民間金融機関との情報交換会の開催(年3回)

空知信用金庫や旭川信用金庫と合同での金融懇談会を年1回開催し、小規模事業者の資金繰り改善、支援メニューの共有に向けた情報交換を行った。

日程	会議名	参加人数
6/25	日本政策金融公庫札幌支店・空知信用金庫平岸支店・旭川信用金庫平岸支店と当所豊平支所との金融懇談会	14人

## 11. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

### ③全国商工会議所関連会議への出席(年5回)

関係施策の運用状況や事例、支援のための環境整備の状況など、最新の情報取得を目的とし、管理職を中心に全国商工会議所関連会議へ年8回出席した。

日程	会議名	参加人数
4/21	日商第32期第8回小規模事業者支援ワーキンググループ	1人
6/13	日商第32期第9回小規模事業者支援ワーキンググループ	1人
9/25	2025年度都道府県庁所在地商工会議所中小企業相談所長会議	1人
9/29	令和7年度北海道ブロック中小企業相談所長会議	1人
11/20~ 11/21	令和7年度22大都市商工会議所中小企業相談所長会議	1人
12/4~ 12/5	令和7年度22大都市商工会議所中小企業相談所運営相談課長会議	1人
2/5~ 2/6	令和7年度22大都市商工会議所中小企業相談所金融担当課長会議	6人
2/12	日商第33期第1回小規模事業者支援ワーキンググループ	1人

### ④支援案件の共有及び受け渡しによる連携強化

小規模企業者等設備貸与事業を希望する事業者に対し、担当窓口である(公財)北海道中小企業総合支援センターへ案件の受け渡しを年2回実施した。

## 12. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

### ①札幌市が主催する委員会への参画(観光分野・食分野)

札幌の観光及び食の国内外へのPRなどを実践する下記委員会に参画し、振興を図った。

#### 1)「札幌市国際観光誘致事業実行委員会」

日程	会議名
4/14(15:30)	令和7年度総会

#### 2)「札幌市国内観光プロモーション実行委員会」

日程	会議名
4/14(14:00)	令和7年度総会

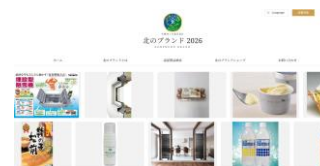
#### 3)「札幌食と観光国際実行委員会」

日程	会議名	日程	会議名
4/16	第1回実務者会議	12/17	第3回実務者会議
4/22	令和7年度総会	3/23	第4回実務者会議
7/23	第2回実務者会議		

### ②北のブランド認証事業(食分野・クリエイティブ分野)

食品部門とものづくり部門の製品募集と認定審査のほか、認証製品PRのため、HP掲載やアンテナショップでの試験販売等を行った。

※北のブランド2026認証数:145社343製品  
(食品部門97社235製品、ものづくり部門51社108製品、※2部門認証3社)



公式HPでの認証製品PR



アンテナショップでの試験販売



イチヨウ並木エリア



日本庭園エリア

### ③新たな観光資源発掘(観光分野)

新しい観光資源の発掘のため、「中島公園紅葉ライトアップ事業」を10月24日～11月3日に開催し、計11日間の会期で、約213,500名が来場した。

## 12. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

④創業支援による事業者増への貢献(札幌経済を発展させる新たな企業や価値の創出)

1)「さっぽろ創業支援プラザ」の運営

国の認定を受けた「札幌市創業支援等事業計画」に基づき、創業者を対象とした相談窓口を運営した。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
中小企業診断士	中小企業診断士	司法書士 行政書士 中小企業診断士	中小企業診断士	税理士 公認会計士

2)「創業スタートアップセミナー」・「創業支援塾」の開催

創業するにあたって必要な「創業時に考えておくべきポイント」や「諸手続」、「融資の受け方」などを学ぶ創業入門セミナーのほか、創業準備に欠かせないノウハウを伝える短期集中型の創業支援塾を開催した。

日程	名称	テーマ・講師	参加人数
4/23	創業スタートアップセミナー①	内容:創業のきっかけをつかみたい方 押えておくべきポイントを解説!	48人
7/23	創業スタートアップセミナー②	講師:オフィス後藤経営 代表 後藤 直樹	31人
5/19他 (計6回)	創業支援塾①	内容:事業計画や資金計画の立て方、マーケティング の基本、会計・税金の知識などの習得	22人
9/12他 (計6回)	創業支援塾②	講師:税理士法人知野・寺田会計事務所 代表社員・所長 寺田 昌人氏	22人
11/18他 (計6回)	創業支援塾③	オフィス後藤経営 代表 後藤 直樹 氏 他	22人

3)スタートアップピッチイベントの開催

各地商工会議所と連携したスタートアップピッチイベントを開催した。

日程	名称	場所	内容	参加人数
7/23	スタートアップマッチングピッチ①	EZOHUB SAPPORO	ピッチイベント4社登壇、自由交流会等	52人
12/4	スタートアップマッチングピッチ②	東京商工会議所	ピッチイベント6社登壇、自由交流会等	97人

## 12. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

### ⑤人材確保支援(札幌経済を担う人材への支援)

#### 1)合同企業説明会

大学や職業能力開発大学校等と連携した合同企業説明会を実施した。

開催日	ターゲット	参加人数	延べ面談数
6/24	札幌国際大学 留学生	企業11社、学生44人	134面談
7/29	ポリテクセンター 北海道受講生	企業15社、受講生29人	135面談
10/29	札幌国際大学 留学生	企業10社、学生42人	118面談
11/5	弘前大学	企業20社、学生15人	29面談
11/12	北海道職業能力開発大学校	企業25社、学生76人	404面談
12/5	北海道大学 留学生	企業16社、学生16人	48面談

#### 2)「人材採用・定着セミナー」

テーマ別セミナーのほか、採用担当者同士の意見交換会などを実施した。

開催日	内容・講師	参加者
5/19	内容:Z世代 × 企業ブランディング セミナー&採用担当者交流会 講師:(株)自然農園 嘶家/プレゼンテーションクリエイター 澁谷 智誉丸 氏	11社16人
6/30	内容:脱・すれ違いコミュニケーション ～リードマネジメントで職場の空気が変わる～ 講師:プルデンシャル生命保険(株) 小林 大剛 氏	45社47人
7/3	内容:第1回現役大学生と採用担当者との交流会	3社3人、学生21人
7/28	内容:プロアスリート人材雇用促進セミナー&交流会 講師:公益財団法人日本オリンピック委員会 キャリアアカデミー事業ディレクター 柴 真樹 氏	7社9人
12/4	内容:第2回現役大学生と採用担当者との交流会	3社3人、学生24人
3/2	内容:中小企業採用力強化セミナー 講師:みらいコンサルティンググループ チーフコンサルタント 本間 正道 氏	23社26人

## 12. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

### ⑥DX推進による人材難への対応支援(IT分野)

#### 1)「DX化支援セミナー」

デジタル化を進めることで、業務効率化や生産性向上を図る方策等について、セミナーを開催した。

開催日	内容・講師	参加者
6/16、 6/23	内容:生成AI活用講座「中小企業のための基礎と実践」 講師:(株)dott 代表取締役 浅井 渉 氏	32人
6/19	内容:観光客・地元客の“動き”から読み解く 立地戦略と集客術セミナー 講師:NTT-ME 鈴木 雄太 氏、NTT東日本サービス 幡生 祐介 氏	28人
7/3	内容:DXを活用して売上UP・コスト管理強化 利益を伸ばす賢いDX導入セミナー 講師:(株)インフォマート、Reno(株)	16人
9/9	内容:AI活用ライブセミナー Geminiが導く、コスト削減と生産性向上の方程式 講師:平塚 知真子 氏	50人
12/15	内容:はじめての動画活用セミナー ～スマホ一台で魅せるPR戦略～ 講師:JCOM(株) 地域ソリューション東日本営業部 部長 畠 直樹 氏 他	37人
1/19(基礎編) 2/4(応用編)	内容:生成AI基礎と応用 AIに触れよ、AIを使え(基礎編、応用編) 講師:(株)無知ノ知 取締役 西田 拓馬 氏 他	133人 58人
2/16	内容:Cyber-道netセミナー(サイバーセキュリティセミナー) 講師:(株)ラックサイバー・グリッド・ジャパンICT利用環境啓蒙支援室 シニア・フェロー 吉岡 良平 氏 他	74人

#### 2)ITに関する専門相談(IT補助金等の活用支援)

週1回、IT導入やDXに関する相談窓口を設置したほか、専門家派遣による伴走型支援を24件実施した。

### ⑦デザイン活用事業(クリエイティブ分野)

ブランド構築におけるデザインの重要性や、デザインに関する権利と注意点等についてセミナーを開催した。

開催日	内容・講師	参加者
12/11	内容:儲かるデザイン講座 講師:(有)3KG 代表 グラフィックデザイナー 佐々木 信 氏 他	41人